

国民民主党 埼玉県第4区総支部長
埼玉県総支部連合会 代表

あさの克彦

「政治家」が変われば「政治」は必ず良くなる
そう信じて朝霞・志木・和光・新座の皆さまと
全力で行動していきます。

あさの克彦

検索



東京五輪 開催？中止？ 判断の指標になるデータの必要性

昨年夏の開催から日程が1年延期となった東京オリンピック・パラリンピック。今現在、これ以上の延期はほぼ出来ないだろうと言われていますが、現状どのようなパターンが考えられるでしょうか。

無観客での開催か、あるいは中止か。

国民の何%が支持している、支持していない、そんな話も出てきますが、そもそもの判断の指標となるデータが見えてこないことに、私は著しく不安を持っています。



開催 or 中止の場合のコスト

開催するとしても、コロナ対策が必要ですし、想定していた数の観客を動員することはほぼ不可能ですので、収入は減り、そして対策費としての支出は増えることが予想されます。

一方で中止にした場合、スポンサー企業が今までに収めたスポンサー料、そして全世界のメディアの放映権料、こういったものの補填、あるいは返却がどうなるのかということも全く見えてきません。

つまり簡単に言うと、開催した場合と中止にした場合、それぞれどのくらいのコストがかかり、そしてコロナに対するリスクがどの程度予想されるのか。

そのデータを基に、その支出を払ってでも中止した方が良いのか、あるいは、その支出をコロナ対策や、そこから見てきた日本社会の問題の改善に使った方が良いのか、といった議論をし、その全てを国民の皆様に見て頂き、その上で最終的な判断をどうするかという議論を先導していくことこそが、本来の国会にあるべき姿ですし、そのような具体的なデータが出てこないことこそが日本の政府、あるいは情報発信の仕組みに問題があると言わざるを得ません。

具体的なデータに基づく議論を

現状の開催、中止の話は感情論になってしまっています。感情論で議論を進めるのは、良いことだとは思いません。もし私が現職でしたら、真っ先に国政調査権、あるいは質問趣意書等を使って、政府にデータを出させます。そのデータを基に議論をし、そしてその議論の全てを国民の皆様に見て頂き、その上で最終的な判断をどうするかという議論を先導していく、そういった行動が必要だと考えています。

森元首相が失言したことによって組織委員会の会長を辞し、そして橋本元大臣が次の会長に就任しました。このことに関して、人を挿げ替えることではなく、一番大事なのは、あの失言で見えてきた日本社会の課題をどのように解決していくのか、そしてスポーツ界が抱える様々な課題をどうやって払拭していくのか、といった議論に発展しなければ意味がありません。私自身、今の新人の身では集められる情報に限界があります。

だからこそ、国政への挑戦をものにして、皆様方にもっと判断の指標となるデータを示していきたい、そのように考える次第であります。

～いっしょに「新しい答え」をつくりませんか？～

国民民主党 党員・サポーター募集！

お申込み・詳細は、国民民主党 埼玉県連ホームページ、またはあさの克彦事務所まで

国民民主党 埼玉県連 HP ↓



コロナワクチン接種のスケジュールと安全性

ワクチン接種の予定スケジュール（3月1日時点）

現在、医療従事者に対してワクチンの先行接種が始まっています。早ければ4月から65歳以上の高齢者に対する接種が始まり、それ以降、高齢者施設で従事する方々、基礎疾患を有する方々については、おそらく6月以降になるのではないかとされています。一方でワクチンに関して、怖いんじゃないか、危ないんじゃないか、といった様な声もあると聞いています。

ワクチン接種による副反応

今回のワクチンは、インフルエンザ等のワクチンの様に、不活性化させた弱まったウイルスを打ち込み免疫を作るものではなく、コロナウイルスの体の一部の特徴的な形を記憶して抗体を作り出すワクチンです。今現在報告されている副反応は、打った場所が痛むと言った症状が6割～8割ぐらいの方々に出ています。それ以外の症状として、発熱や頭痛といった症状も報告されています。重篤な症状が出た事例が、諸外国で報告されていることも報道には出ていますが、これは正式にワクチンとの関連性が証明されていないために、今現在はワクチン自体が持っている副反応とは言えないという事です。ワクチンの副反応が出たものに対しては、国が責任をもって対処する、といった形の契約になっていますので、まずはそういうワクチンであるという事を認識していただきたいと思います。

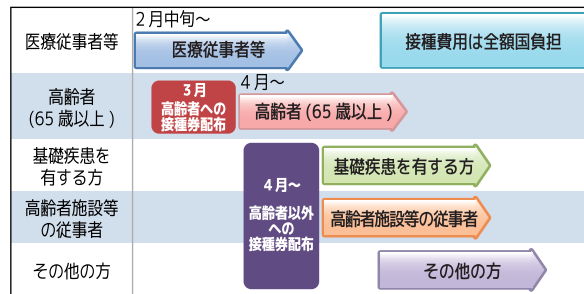
アレルギー反応が出た方は接種出来ません

このワクチンを打ったことによってアレルギー反応が出た方は二回目の接種は受けられません。また、主成分であるエチレンジグリコール等の物質に元々アレルギーを持っている方は、そもそも摂取できないといったことになっているそうです。妊娠中の方については、十分な説明と同意があれば、妊娠12週目以降の方は接種できます。実際に我々が摂取する時には、お医者さんから詳しい説明を受けた上で接種することになると思います。そしてその際、分かっておいていただきたいのは、100%の安全というものは存在しないということです。

100%安全なワクチンはないということ

ワクチンを打つにあたり、絶対に安全なものを求めたいという気持ちは私もありますし、理解もできます。しかし、インフルエンザ等のワクチンにしても、100%安全というものはありません。コロナに感染するリスクを考えれば、接種するのが正解なのではないかと私は思います。コロナに感染した場合、味覚・嗅覚障害や倦怠感、更には頭髪が抜けてしまったり、最近では記憶障害と言った話も出ていますが、そういった後遺症が発症しないとも限りませんので、感染しないことが一番だと私は思います。是非とも皆様方には、「0」か「100」かの議論ではなくて、ある程度確率を基にした冷静な判断をお願いしたいと思います。

▼ ワクチンの接種スケジュール（埼玉県HPより）



プロフィール

昭和49年 北海道札幌市生まれ
平成10年 北海道大学工学部卒
12年 大学院中退後、IT企業入社
13年 前埼玉県知事 上田きよし秘書、後に事務所長
21年 東京都議会議員 初当選
25年 東京都議会議員 2期目の当選
30年 タクシードライバーから
参議院議員公設第一秘書

中学・高校と柔道部に所属（初段）
好きなこと：運動、カラオケ、読書
好きな食物：白いご飯
ニックネーム：かつを
お酒：酒は弱い飲み会好き
家族：妻、長男、長女



連絡先

国民民主党 埼玉県第4区総支部
(朝霞市 / 志木市 / 和光市 / 新座市)

あさの克彦 事務所

〒351-0025

朝霞市三原 4-5-18 ベルコーポ I-102

TEL 048(483)5290 FAX 048(483)5291

E-mail info@asano-k.net